

# dbSheetEX11

ディービーシート・イーエックス11

## WebAPI

### ②API リファレンスマニュアル

バージョン：11.0

2025年5月 改訂

## 《法的な注意事項》

本書に記載した内容は、予告なしに変更することがあります。

本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書の記載事項の誤り、または欠落により発生した損害については責任を負いかねますのでご了承ください。

## 《著作権表示》

本書に関する著作権は、株式会社ニューコムへ独占的に帰属します。株式会社ニューコムが事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を複製することは禁じられています。

## 《商標表示》

記載されているマイクロソフト製品（Windows、Office、Excel、Access 等）は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。

## 内容

WebAPI 一覧.....	4
1. /token トークンの発行.....	5
2. /api/logout ログアウト.....	10
3. /api/getdata データ取得.....	11
4. /api/getdata2 qid なしのデータ取得.....	14
5. /api/updatedata データ更新.....	17
6. /api/unlockdata 悲観ロック解除.....	19
7. /api/getgroups グループ取得.....	22
8. /api/sendmail メール送信.....	23
9. /api/sendlog ログ送信.....	25
10. /api/getversion バージョン取得.....	26
11. /api/uploadfile ファイルのアップロード.....	27
12. web.config の設定項目.....	28
13. ログ出力.....	29
14. 脚注.....	30
<b>A. 改版履歴.....</b>	<b>32</b>

## WebAPI 一覧

No	エンドポイント	名称	説明
1	/token	トークンの発行	システムにログインし、トークンを発行します。 他の API 呼び出し時にはこのトークンを必ず添付します。 トークンの再発行も行います。
2	/api/logout	ログアウト	システムからログアウトします。
3	/api/getdata	データ取得	DBS サーバーに登録したクエリーを実行し、データを取得します。 悲観ロックをかけることもできます。
4	/api/getdata2	qid を使用しないデータ取得	qid を使用しないでデータを取得します。
5	/api/updatedata	データ更新	テーブルを更新します。 テーブルに dbS 制御フィールドがあると楽観ロックを行います。
6	/api/unlockdata	悲観ロック解除	悲観ロックを解除します。
7	/api/getgroups	グループ取得	ログインユーザーが所属するグループコードを取得します。
8	/api/sendmail	メール送信	メールを送信します。
9	/api/sendlog	ログ送信	サーバーにログを送信します。 送信されたログはサーバーログビューアで参照できます。
10	/api/getversion	バージョン取得	WebAPI と DBS サーバーのバージョンを取得します。
11	/api/uploadfile	ファイルのアップロード	DBS サーバーにファイルをアップロードします。

※JavaScript のサンプルコードも別ファイルで用意していますので、参考にしてください。

## 1. /token トークンの発行

HTTP メソッド POST

### (1) 認証する場合

#### ■パラメータ

ボディに application/x-www-form-urlencoded 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	説明
1	grant_type	○	許可のタイプ。” password” を指定します。
2	username	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HTTP ヘッダに X-Ncm-Auth がない場合 通常の利用者名</li> <li>● HTTP ヘッダに X-Ncm-Auth がある場合 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢ X-Ncm-Auth が” plain” の場合 通常の利用者名</li> <li>➢ X-Ncm-Auth が” enc” の場合 dbsdb データベースの T_ACCOUNT テーブルの USER_ID</li> </ul> </li> </ul>
3	password	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HTTP ヘッダに X-Ncm-Auth がない場合 通常のパスワード</li> <li>● HTTP ヘッダに X-Ncm-Auth がある場合 DBS サーバーのポータルリンク機能で取得したセッション ID 詳細は「ポータルリンク機能マニュアル」を参照してください。</li> </ul>

#### ■例

```
POST http://somedomain/dbsapi/token HTTP/1.1
Content-Type: application/x-www-form-urlencoded
```

```
grant_type=password&username=someonerd&password=p@sswOrd
```

#### ■返信

ユーザー名とパスワードが認証された場合、HTTP ステータスが 200 (OK) で、次のような返信があります。

No	項目	型	説明
1	access_token	文字列	トークン。今後他の API を呼び出すときにこれを使用します。
2	token_type	文字列	トークンの種類。” bearer” です。
3	expires_in	数値	トークンの有効期間です。単位は秒。
4	refresh_token	文字列	リフレッシュトークン。トークンの有効期間が過ぎた場合に使用します。

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{
  "access_token": "zaK5QGlp6Xbi8bca94kw7UgDjeSvBvZmpBgV8rv5TxlLN ... GYKJ2KfDdT-DOg",
  "token_type": "bearer",
```

```
  "expires_in": 1200,
```

```
  "refresh_token": "6ImNk1AawrvMLWA5i6FyFnG0x2vFY4vgUmhKtYrCSOuE ... vWwmRHkOb-
  LT3AqAmRQ"}
```

エラーが発生した場合、次のような返信があります。

No	項目	型	説明		
1	error	文字列	エラー内容		
			<b>エラータイプ</b>	<b>HTTP ステータス</b>	<b>説明</b>
			invalid_grant	400 Bad Request	username、password パラメータがありません。または、複数あります。または、username、password の値に誤りがあります。
unsupported_grant_type	400 Bad Request	grant_type パラメータがありません。または、複数あります。または、grant_type の値が"password" 以外です。または、生成元が異なります。*3			

上記のエラーとは別に dbSheetClient のエラーを" X-Ncm-Err-Code" HTTP ヘッダで返します。

エラーコード	説明
E001	ID、または、パスワードが不正です。
E002	アカウントが無効です。
E003	アカウントが長期間ログインしなかったため、無効にされました。
E004	同時ログイン数を越えました。
E005	フローティングユーザー数を越えました。
E006	評価版の有効期限が切れています。
E007	パスワード最終変更日から指定期間が経過しましたため、パスワードを変更してください。
E008	「初回パスワード変更」で初回のログインため、パスワードを変更してください。
E009	WebAPI ライセンスがありません。

### ■例

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{
  "error": "invalid_grant"}
```

(2) トークンを再取得する場合

■パラメータ

ボディに application/x-www-form-urlencoded 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	説明
1	grant_type	○	許可のタイプ。” refresh_token” を指定します。
2	refresh_token	○	リフレッシュトークン

■例

POST http://somedomain/dbsapi/token HTTP/1.1  
 Content-Type: application/x-www-form-urlencoded

grant\_type=refresh\_token&refresh\_token=6lmNk1AawrvMLWA5i6FyFnGOx2vFY4vgUmh...mRHKOb-LT3AqAmRQ

■返信

リフレッシュトークンが正しい場合、「(1) 認証する場合」と同様です。  
 エラーが発生した場合、次のような返信があります。

No	項目	型	説明									
1	error	文字列	エラー内容									
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>エラータイプ</th> <th>HTTP ステータス</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>invalid_grant</td> <td>400 Bad Request</td> <td>refresh_token パラメータが複数あります。または、refresh_token の値に誤りがあります。または、リフレッシュトークンの有効期間が過ぎました。</td> </tr> <tr> <td>unsupported_grant_type</td> <td>400 Bad Request</td> <td>grant_type パラメータがありません。または、複数あります。または、grant_type の値が” refresh_token” 以外です。</td> </tr> </tbody> </table>	エラータイプ	HTTP ステータス	説明	invalid_grant	400 Bad Request	refresh_token パラメータが複数あります。または、refresh_token の値に誤りがあります。または、リフレッシュトークンの有効期間が過ぎました。	unsupported_grant_type	400 Bad Request	grant_type パラメータがありません。または、複数あります。または、grant_type の値が” refresh_token” 以外です。
			エラータイプ	HTTP ステータス	説明							
invalid_grant	400 Bad Request	refresh_token パラメータが複数あります。または、refresh_token の値に誤りがあります。または、リフレッシュトークンの有効期間が過ぎました。										
unsupported_grant_type	400 Bad Request	grant_type パラメータがありません。または、複数あります。または、grant_type の値が” refresh_token” 以外です。										
refresh_token パラメータがない場合、HTTP ステータスは 500 (Internal Server Error) が返ります。												

■例

HTTP/1.1 400 Bad Request  
 Content-Type: application/json;charset=UTF-8

```
{ "error": "unsupported_grant_type" }
```

■説明

他の API を呼び出す前に最初に実行し、他の API を呼び出すときに、以下のようにここで取得したトークンを添付します。

■例

GET http://somedomain/dbsapi/api/getgroups HTTP/1.1  
 Content-Type: application/json; charset=utf-8

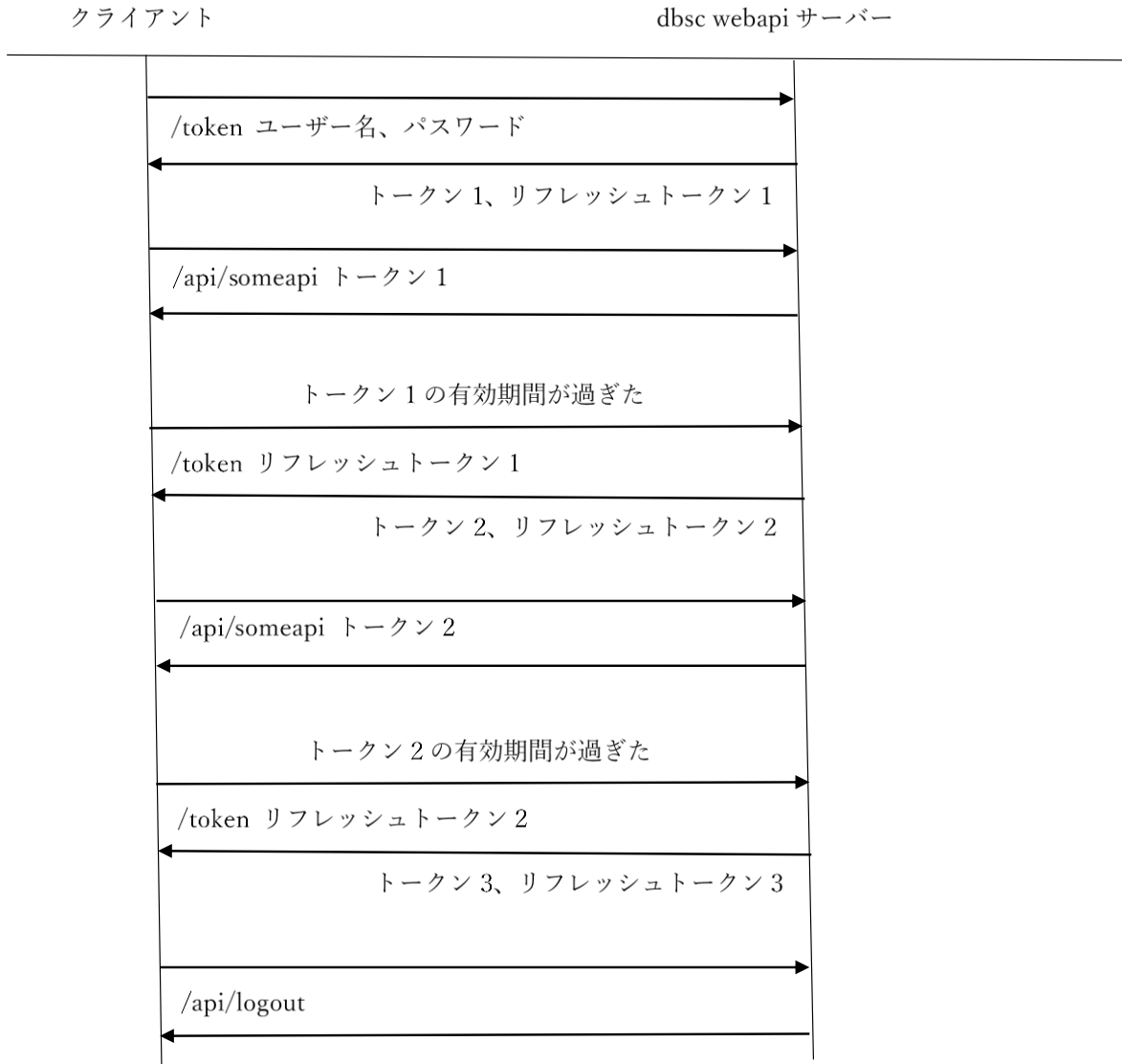
# dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

Authorization: Bearer XCmZYeCM3 ... PBEvMtewxvceQ

トークンの有効期間が過ぎた場合、リフレッシュトークンを使用し、同/token エンドポイントを呼び、新しいトークンを取得します。そのときリフレッシュトークンも再取得されます。

リフレッシュトークンは何回でも再利用できるため、その有効期間はトークンの有効期間と同じに設定した方が良いでしょう。

リフレッシュトークンの有効期間が過ぎた場合、再認証する必要があります。



## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

※dbSheetClient の認証についての注意点

- DBS サーバーのアカウント認証設定画面の「パスワードによる認証」を「許可しない」に設定しても Web API の認証には影響はありません。
- DBS サーバーのアカウント認証設定画面の「パスワード有効期限」を設定し、パスワード有効期限が過ぎて Web API の認証を行った場合、エラーになりますが、エラーを解除するためには DBS サーバー管理画面にログインし、または、実行版でログインし、パスワードを変更する必要があります。
- DBS サーバーのアカウント認証設定画面の「パスワード変更」を「初回ログイン時にパスワードの変更が必要」に設定し、初回に Web API の認証を行った場合、エラーになりますが、エラーを解除するためには実行版でログインし、パスワードを変更する必要があります。

## 2. /api/logout ログアウト

HTTP メソッド GET

### ■パラメータ

なし

### ■例

GET http://somedomain/dbsapi/api/logout HTTP/1.1

### ■返信

正常にログアウトできた場合、HTTP ステータスが 200 (OK) の返信があります。

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	項目		HTTP ステータス	説明
	code(数値)	message(文字列)		
1	4002	ログアウト処理に失敗しました。 該当するセッションデータが存在しません。*1	400 Bad Request	別ブラウザでログアウトしたときに発生します。
2	5001	システム DB の更新に失敗しました。*1	500 Internal Server Error	データベース処理でエラーが発生しました。
3	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": 4002, "message": "ログアウト処理に失敗しました。該当するセッションデータが存在しません。" }
```

### ■説明

終了時に本 API を呼びます。トークンとリフレッシュトークンは破棄してください。

### 3. /api/getdata データ取得

HTTP メソッド POST

#### ■パラメータ

ボディに application/json 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	型	説明																											
1	alias	○	文字列	エイリアス																											
2	qid	○	文字列	クエリーID。クエリーは DBS サーバーのクエリー情報画面で登録し、ここではクエリーID で実行するクエリーを指定します。																											
3	qprm		オブジェクト配列	name, type, value の配列。クエリーパラメータ DBS サーバーのクエリー情報画面で登録したクエリーがパラメータを含む場合、指定します。																											
4	name	○	文字列	パラメータ名 名前パラメータの場合、配列内でユニークにします。 位置パラメータの場合、任意の文字列です。																											
5	type	○	文字列	パラメータの型 <table border="1" data-bbox="735 952 1484 1395"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>名前</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Boolean</td> <td>真偽値型</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Date</td> <td>日付型</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>DateTime</td> <td>日付時刻型</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Decimal</td> <td>10 進数型</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Double</td> <td>実数型</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Int32</td> <td>32 ビット整数型</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>String</td> <td>文字列型</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Time</td> <td>時刻型</td> </tr> </tbody> </table>	No	名前	説明	1	Boolean	真偽値型	2	Date	日付型	3	DateTime	日付時刻型	4	Decimal	10 進数型	5	Double	実数型	6	Int32	32 ビット整数型	7	String	文字列型	8	Time	時刻型
No	名前	説明																													
1	Boolean	真偽値型																													
2	Date	日付型																													
3	DateTime	日付時刻型																													
4	Decimal	10 進数型																													
5	Double	実数型																													
6	Int32	32 ビット整数型																													
7	String	文字列型																													
8	Time	時刻型																													
6	value		オブジェクト	パラメータの値。NULL を渡したい場合、null を指定するか、または、value パラメータを省略します。																											
7	pesimisticLock		真偽値	悲観ロック。true または false を指定します。 デフォルトは false。																											
8	withColumns		真偽値	列名取得。true または false を指定します。 デフォルトは false。																											
9	objectArray		真偽値	オブジェクト配列。true または false を指定します。 デフォルトは false。																											

#### ■例

POST http://somedomain/dbsapi/api/getdata HTTP/1.1

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "alias": "業務 DB", "qid": "myapp0005", "qprm": [ { "name": "min_id", "type": "Int32", "value": 10 }, { "name": "max_id",
```

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

```
"type": "Int32", "value": 50}], "pesimisticLock": false, "withColumns": true}
```

### ■返信

正常にデータが取得できた場合、HTTP ステータスが 200(OK) で次のような返信があります。

No	項目	型	説明
1	data	オブジェクト配列の配列	項目データの配列で 1 行のデータを表し、1 行のデータの配列で全ての行を表します。objectArray が false の場合です。
		オブジェクトの配列	列名をメンバーとするオブジェクトで 1 行のデータを表し、そのオブジェクトの配列で全ての行を表します。objectArray が true の場合です。
2	columns	文字列の配列	取得するデータの列名の配列 qid パラメータで指定したクエリーの select 句で列名がない場合、列名が順番に Column1,Column2,...のように自動で付けられるため、select 句で必ず列名を指定するようにしてください。

### ■例

objectArray が false の場合

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "data": [[1, "名称 1", true], [2, "名称 2", true], [3, "名称 3", false]], "columns": ["id", "name", "result"] }
```

objectArray が true の場合

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "data": [{"id": 1, "name": "名称 1", "result": true}, {"id": 2, "name": "名称 2", "result": true}, {"id": 3, "name": "名称 3", "result": false}], "columns": ["id", "name", "result"] }
```

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code(数値)	message(文字列)		
1	4001	システムによるメッセージ *1	400 Bad Request	alias, qid パラメータがありません。pesimisticLock, withColumns, type, value パラメータの値が不正です。qprm パラメータがあるときに、name, type パラメータがありません。
2	4003	エイリアスが存在しません。 *1	400 Bad Request	alias パラメータで指定したエイリアスが存在しません。
3	4004	クエリーが存在しません。 *1	400 Bad Request	qid パラメータで指定したクエリーが存在しません。
4	4005	悲観ロックに必要な項目がク	400 Bad	pesimisticLock パラメータが true のときに、qid

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

		エラーに展開されていません。*1	Request	パラメータで指定したクエリーの select 句に DBS_STATUS 、 DBS_UPDATE_USER 、 DBS_UPDATE_DATE がありません。
5	5002	[ユーザー名]によって既に悲観ロックされています。*1	500 Internal Server Error	pesimisticLock パラメータが true のときに、取得されたデータの中に他者が悲観ロックしたものがありません。
6	5003	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	悲観ロック実行時に DB アクセスエラーが発生しました。
7	5012	エイリアスが重複しています。*1	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスが重複しています。
8	5013	指定された SQL 文実行中にエラーが発生しました。データベースの接続に失敗したか、SQL 文の文法に誤りがあります。*1	500 Internal Server Error	qid パラメータで指定したクエリー、または、qprm パラメータに誤りがあります。
9	5014	エイリアスは、許可されません。 The alias is not allowed.	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスは、許可されません。
10	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

本 API ではパラメータに detailmessage (文字列) が追加されます。詳細なエラーメッセージです。

### ■例

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": "4003", "message": "エイリアスが存在しません。" }
```

### ■説明

データを取得します。

## 4. /api/getdata2 qid なしのデータ取得

HTTP メソッド POST

## ■パラメータ

ボディに application/json 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	型	説明
1	alias	○	文字列	エイリアス
2	table	○	文字列	テーブル名
3	columns		文字列の 配列	返信に含める列を指定します。 SELECT 句に記述できる内容を指定します。 列名に空白が含まれる場合、[], "" などのデータベースで決められた文字で囲ってください。 デフォルトは、すべての列が返されます。
4	totalCount		数値	取得するレコード数を指定します。 0 の場合は、すべてのレコードが返されます。デフォルトは 0。
5	filter		文字列	検索条件を指定します。 WHERE 句に記述できる内容を指定します。
6	sort		文字列の 配列	並び順を指定します。 ORDER BY 句に記述できる内容を指定します。
7	pesimisticLock		真偽値	悲観ロック。true または false を指定します。 デフォルトは false。
8	withColumns		真偽値	列名取得。true または false を指定します。 デフォルトは false。
9	objectArray		真偽値	オブジェクト配列。true または false を指定します。 デフォルトは false。

## ■例

POST http://somedomain/dbsapi/api/getdata2 HTTP/1.1

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "alias": "業務 DB", "table": "T_売上", "columns": ["売上コード", "商品コード", "数量", "単価", "数量*単価 金額"], "totalCount": 0, "filter": "売上コード=12345", "sort": ["金額 DESC", "商品コード"] }
```

## ■返信

正常にデータが取得できた場合、HTTP ステータスが 200 (OK) で次のような返信があります。

No	項目	型	説明
1	data	オブジェクト配 列の配列	項目データの配列で 1 行のデータを表し、1 行のデータの配列で全ての行を表します。objectArray が false の場合です。
		オブジェクトの	列名をメンバーとするオブジェクトで 1 行のデータを表し、そのオブジェ

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

		配列	クオートの配列で全ての行を表します。objectArray が true の場合です。
2	columns	文字列の配列	取得するデータの列名の配列 columns 入力パラメータで式を使用する場合、必ず別名を指定します。別名を指定しない場合、列名が順番に Column1,Column2,...のように自動で付けられます。

### ■例

objectArray が false の場合

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "data": [ [ 12345, 1000, 1, 500, 500 ], [ 12345, 1010, 1, 400, 400 ] ] }
```

objectArray が true の場合

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "data": [ { "売上コード": 12345, "商品コード": 1000, "数量": 1, "単価": 500, "金額": 500 }, { "売上コード": 12345, "商品コード": 1010, "数量": 1, "単価": 400, "金額": 400 } ] }
```

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code(数値)	message(文字列)		
1	4001	システムによるメッセージ *1	400 Bad Request	alias, table パラメータがありません。columns, totalCount, filter, sort, pesimisticLock, withColumns, objectArray パラメータの値が不正です。
2	4003	エイリアスが存在しません。 *1	400 Bad Request	alias パラメータで指定したエイリアスが存在しません。
3	4005	悲観ロックに必要な項目がクエリーに展開されていません。 *1	400 Bad Request	pesimisticLock パラメータが true のときに、columns パラメータ配列の中に DBS_STATUS、DBS_UPDATE_USER、DBS_UPDATE_DATE がありません。
4	5002	[ユーザー名]によって既に悲観ロックされています。 *1	500 Internal Server Error	pesimisticLock パラメータが true のときに、取得されたデータの中に他者が悲観ロックしたものがありません。
5	5003	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	悲観ロック実行時に DB アクセスエラーが発生しました。
6	5012	エイリアスが重複しています。 *1	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスが重複しています。

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

7	5013	指定された SQL 文実行中にエラーが発生しました。データベースの接続に失敗したか、SQL 文の文法に誤りがあります。*1	500 Internal Server Error	table, columns, filter, sort パラメータに誤りがあります。
8	5014	エイリアスは、許可されません。 The alias is not allowed.	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスは、許可されません。
9	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{"code":4003,"message":"エイリアスが存在しません。"}
```

### ■説明

qid なしでデータを取得します。

## 5. /api/updatedata データ更新

HTTP メソッド POST

### ■パラメータ

ボディに application/json 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	型	説明
1	alias	○	文字列	エイリアス
2	tables	○	配列	table, columns, data の配列
3	table	○	文字列	テーブル名
4	columns	○	文字列の配列	更新する列名の配列
5	data	○	オブジェクト配列の配列	更新するデータの配列

### ■例

POST http://somedomain/dbsapi/api/updatedata HTTP/1.1

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "alias": "業務 DB", "tables": [{"table": "売上", "columns": ["売上 ID", "項目名", "金額"], "data": [[1, "鉛筆", 1000], [2, "消しゴム", 500]]}, {"table": "明細", "columns": ["明細 ID", "売上 ID", "金額"], "data": [[1, 1, 1000], [2, 1, 500]]}] }
```

### ■返信

正常にデータを更新できた場合、HTTP ステータスが 200(OK)の返信があります。

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code(数値)	message(文字列)		
1	4001	システムによるメッセージ *1	400 Bad Request	alias, table, columns, data パラメータがありません。
2	4003	エイリアスが存在しません。*1	400 Bad Request	alias パラメータで指定したエイリアスが存在しません。
3	5004	元のデータレコードの取得時にエラーが発生しました。*1	500 Internal Server Error	楽観ロックのために更新するレコードを取得するときにエラーが発生しました。
4	5005	処理対象となるレコードが存在しません。 処理内容: Delete キー項目: [項目名]=[項目値] *1	500 Internal Server Error	削除するレコードが存在しません。
5	5006	楽観ロックにより排他制御されました。 最終更新者: [更新者名] 最終更新時間: [更新時刻] レコードキー: [項目名]=[項目値] *1	500 Internal Server Error	楽観ロックに失敗しました。データを取得した後に他者がそのデータを更新しました。

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

6	5007	悲観ロックにより排他制御されました。 ロックユーザー：[更新者名] ロック開始時間：[更新時刻] レコードキー：[項目名]=[項目値] *1	500 Internal Server Error	更新するデータの中に悲観ロックされたデータがあります。
7	5008	テーブルの更新中にエラーが発生しました。*1	500 Internal Server Error	データ更新中にエラーが発生しました。
8	5012	エイリアスが重複しています。*1	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスが重複しています。
9	5014	エイリアスは、許可されません。 The alias is not allowed.	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスは、許可されません。
10	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": "4003", "message": "エイリアスが存在しません。" }
```

### ■説明

データを更新します。更新途中でエラーが発生した場合、本 api 実行前の状態に戻ります。

- columns パラメータに DBS 同時実行制御フィールド (DBS\_STATUS, DBS\_CREATE\_USER, DBS\_CREATE\_DATE, DBS\_UPDATE\_USER, DBS\_UPDATE\_DATE) が含まれる場合
  - 楽観ロックを行います。
  - データを追加、更新する場合、DBS\_STATUS を” 2” に設定します。
  - データを削除する場合、DBS\_STATUS を” 99” に設定します。
  - DBS\_STATUS が” 2”、” 99” 以外の場合、その行は無視されます。送信するデータ量削減のため、DBS\_STATUS が” 2”、” 99” 以外のデータは送信する必要がありません。
  - データを追加する場合、DBS\_STATUS 以外は値を設定する必要がありません。  
DBS\_STATUS, DBS\_CREATE\_USER, DBS\_CREATE\_DATE, DBS\_UPDATE\_USER, DBS\_UPDATE\_DATE はサーバーでそれぞれ” 1”、ログインユーザー名、システム日時、ログインユーザー名、システム日時が設定されます。
  - データを更新する場合、DBS\_STATUS 以外は読み込み時の値のままにします。  
DBS\_UPDATE\_USER, DBS\_UPDATE\_DATE はサーバーでそれぞれログインユーザー名、システム日時が設定されます。
  - 本 api を連続して実行すると初回は成功しますが、2 回目はエラーコード 5006 の楽観ロックエラーが発生します。連続して、データを編集する必要がある場合、本 api を呼んだ後、/api/getdata データ取得を呼ぶ必要があります。
- columns パラメータに DBS 同時実行制御フィールド (DBS\_STATUS, DBS\_CREATE\_USER, DBS\_CREATE\_DATE, DBS\_UPDATE\_USER, DBS\_UPDATE\_DATE) が含まれない場合

- 楽観ロックを行いません。
- data パラメータのデータは全て追加、更新されます。
- データを削除することはできません。

## 6. /api/unlockdata 悲観ロック解除

HTTP メソッド POST

### ■パラメータ

ボディに application/json 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	型	説明																											
1	alias	○	文字列	エイリアス																											
2	qid	○	文字列	クエリーID。クエリーは DBS サーバーのクエリー情報画面で登録し、ここではクエリーID で実行するクエリーを指定します。																											
3	qprm		オブジェクト配列	name, type, value の配列。クエリーパラメータ DBS サーバーのクエリー情報画面で登録したクエリーがパラメータを含む場合、指定します。																											
4	name	○	文字列	パラメータ名 名前パラメータの場合、配列内でユニークにします。 位置パラメータの場合、任意の文字列です。																											
5	type	○	文字列	パラメータの型 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>No</th> <th>名前</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>Boolean</td> <td>真偽値型</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>Date</td> <td>日付型</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>DateTime</td> <td>日付時刻型</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>Decimal</td> <td>10 進数型</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>Double</td> <td>実数型</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>Int32</td> <td>32 ビット整数型</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>String</td> <td>文字列型</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>Time</td> <td>時刻型</td> </tr> </tbody> </table>	No	名前	説明	1	Boolean	真偽値型	2	Date	日付型	3	DateTime	日付時刻型	4	Decimal	10 進数型	5	Double	実数型	6	Int32	32 ビット整数型	7	String	文字列型	8	Time	時刻型
No	名前	説明																													
1	Boolean	真偽値型																													
2	Date	日付型																													
3	DateTime	日付時刻型																													
4	Decimal	10 進数型																													
5	Double	実数型																													
6	Int32	32 ビット整数型																													
7	String	文字列型																													
8	Time	時刻型																													
6	value		オブジェクト	パラメータの値。NULL を渡したい場合、null を指定するか、または、value パラメータを省略します。																											

### ■例

POST http://somedomain/dbsapi/api/unlockdata HTTP/1.1

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "alias": "業務 DB", "qid": "myapp0010" }
```

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

### ■返信

正常に悲観ロック解除された場合、HTTP ステータスが 200 (OK) の返信があります。

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code (数値)	message (文字列)		
1	4001	システムによるメッセージ *1	400 Bad Request	alias, qid パラメータがありません。type, value パラメータの値が不正です。qprm パラメータがあるときに、name, type パラメータがありません。
2	4003	エイリアスが存在しません。 *1	400 Bad Request	alias パラメータで指定したエイリアスが存在しません。
3	4004	クエリーが存在しません。*1	400 Bad Request	qid パラメータで指定したクエリーが存在しません。
4	4005	悲観ロックに必要な項目がクエリーに展開されていません。 *1	400 Bad Request	qid パラメータで指定したクエリーの select 句に DBS_STATUS、DBS_UPDATE_USER、DBS_UPDATE_DATE がありません。
5	5009	悲観ロックの解除に失敗しました。*1	500 Internal Server Error	悲観ロック解除実行時に DB アクセスエラーが発生しました。
6	5012	エイリアスが重複しています。 *1	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスが重複しています。
7	5013	指定された SQL 文実行中にエラーが発生しました。データベースの接続に失敗したか、SQL 文の文法に誤りがあります。*1	500 Internal Server Error	qid パラメータで指定したクエリー、または、qprm パラメータに誤りがあります。
8	5014	エイリアスは、許可されません。 The alias is not allowed.	500 Internal Server Error	alias パラメータで指定したエイリアスは、許可されません。
9	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{"code":4003,"message":"エイリアスが存在しません。"}
```

### ■説明

悲観ロックを解除します。qid, qprm パラメータには/api/getdata（データ取得）の呼び出し時の同パラメータの値を指定します。

## 7. /api/getgroups グループ取得

HTTP メソッド GET

### ■パラメータ

なし

### ■例

GET http://somedomain/dbsapi/api/getgroups HTTP/1.1

### ■返信

正常にグループが取得された場合、HTTP ステータスが 200 (OK) で、次のような返信があります。

No	項目	型	説明
1	groups	数値の配列	ログインユーザーが所属する全てのグループコードです。

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "groups": [1,3,9] }
```

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code (数値)	message (文字列)		
1	5010	所属グループ一覧の取得に失敗しました。*1	500 Internal Server Error	所属するグループコードの取得時に DB アクセスエラーが発生しました。
2	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 500 Internal Server Error

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": 5010, "message": "所属グループ一覧の取得に失敗しました。" }
```

### ■説明

ログインユーザーが所属する全てのグループのグループコードを取得します。

## 8. /api/sendmail メール送信

HTTP メソッド POST

## ■パラメータ

ボディに application/json 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	型	説明
1	from	○	文字列	送信者アドレス。name<user@domain.jp>形式も可。
2	to	○	文字列の配列	送信先アドレス。name<user@domain.jp>形式も可。
3	cc		文字列の配列	CC アドレス。name<user@domain.jp>形式も可。
4	bcc		文字列の配列	BCC アドレス。name<user@domain.jp>形式も可。
5	subject	○	文字列	件名
6	body	○	文字列	本文
7	attached		配列	fileName, content の配列。添付ファイル
8	fileName	○	文字列	ファイル名。必ずユニークにする。
9	content	○	文字列	ファイルの内容(Base64 でエンコーディング)
10	serverFolder		文字列	DBS サーバーのメールフォルダー このフォルダーに添付するファイルを置きます。

## ■例

POST http://somedomain/dbsapi/api/sendmail HTTP/1.1

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "from": "someone@fromdomain.com", "to": [ "to1@domain1.com", "to2@domain2.com" ], "subject": "Hello!", "body": "Hello!" }
```

## ■返信

正常にデータを更新できた場合、HTTP ステータスが 200(OK)の返信があります。

## ■例

HTTP/1.1 200 OK

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code (数値)	message (文字列)		
1	4001	システムによるメッセージ *1	400 Bad Request	from, to, subject, body, filename, content パラメータがありません。
2	5011	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	メール送信に失敗しました。

## ■例

HTTP/1.1 500 Internal Server Error

## dbSheetEX (V11.0) WebAPI リファレンスマニュアル

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": 5011, "message": " ErrorType: System.Exception
```

```
Error: メールボックスが使用できません。 サーバーの応答: sorry, no mailbox here by that name. (#5.1.1) }
```

### ■説明

DBS サーバーのメール送信機能を使用して、メールを送信します。

添付ファイルは圧縮されず、Base64 でエンコードされるため、送信サイズは元のサイズの 4/3 倍になります。

合計で 3M バイトを越える添付ファイルを添付するときは、web.config の httpRuntime タグの maxRequestLength 属性を修正します。単位はキロバイトでデフォルト値は 4096 です。

```
<system.web>  
<httpRuntime maxRequestLength="5333" />  
</system.web>
```

合計 4M バイトまでの添付ファイルを添付するには、 $4000\text{KB} \times 4/3 = 5333$  を指定します。

## 9. /api/sendlog ログ送信

HTTP メソッド POST

### ■パラメータ

ボディに application/json 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	型	説明
1	title	○	文字列	タイトル
2	detail1		文字列	詳細 1
3	detail2		文字列	詳細 2

### ■例

POST http://somedomain/dbsapi/api/sendlog HTTP/1.1

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "title": "タイトル", "detail1": "詳細 1 です。", "detail2": "詳細 2 です。" }
```

### ■返信

正常にデータを更新できた場合、HTTP ステータスが 200(OK)の返信があります。

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code (数値)	message (文字列)		
1	4001	システムによるメッセージ *1	400 Bad Request	title パラメータがありません。
2	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 400 Bad Request

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": 4001, "message": "Title フィールドが必要です。" }
```

### ■説明

サーバーにログを送信します。送信されたログはサーバーログビューアで参照できます。

## 10. /api/getversion バージョン取得

HTTP メソッド GET

### ■パラメータ

なし

### ■例

GET http://somedomain/dbsapi/api/getversion HTTP/1.1

### ■返信

正常にバージョンが取得された場合、HTTP ステータスが 200(OK)で、次のような返信があります。

No	項目	型	説明
1	apiversion	文字列	WebAPI サーバーのバージョン
2	dbsversion	文字列	DBS サーバーのバージョン

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "apiversion": "1.0.0.0", "dbsversion": "9.3.1.0" }
```

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code (数値)	message (文字列)		
1	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 500 Internal Server Error

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": "5999", "message": "サーバーでエラーが発生しました。" }
```

### ■説明

WebAPI サーバーと DBS サーバーのバージョンを取得します。

## 11. /api/uploadfile ファイルのアップロード

HTTP メソッド POST

### ■パラメータ

ボディに application/json 形式で以下のパラメータを指定します。文字コードは UTF-8 です。

No	パラメータ	必須	型	説明
1	path	○	文字列	DBS サーバー上のファイルへのパス フォルダがない場合、自動で作成します。 ファイルが既に存在する場合、上書きします。 ファイルの作成、更新日時はシステム日時が設定されます。
2	content	○	文字列	ファイルの内容(Base64 でエンコーディング)

### ■例

POST http://somedomain/dbsapi/api/uploadfile HTTP/1.1

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "path": "C:¥data¥data00123.dat", "content": "44OG44K544O" }
```

### ■返信

正常にデータを更新できた場合、HTTP ステータスが 200(OK)の返信があります。

### ■例

HTTP/1.1 200 OK

エラーが発生した場合、次のような返信があります。\*2

No	パラメータ		HTTP ステータス	説明
	code (数値)	message (文字列)		
1	4001	システムによるメッセージ *1	400 Bad Request	content, path パラメータがありません。
2	5999	システムによるメッセージ *1	500 Internal Server Error	サーバーでエラーが発生しました。

### ■例

HTTP/1.1 500 Internal Server Error

Content-Type: application/json; charset=UTF-8

```
{ "code": "5999", "message": "サーバーでエラーが発生しました。" }
```

### ■説明

DBS サーバーへファイルをアップロードします。ファイルの内容についての注意点は「8. /api/sendmail メール送信」の説明を参照してください。本 API は DBS サーバーのホワイトリストの仕様に従います。

## 12. web.config の設定項目

No	項目	説明																					
1	TokenExperationTime	トークンの有効期間 (分)																					
2	RefreshTokenExpirationTime	リフレッシュトークンの有効期間 (分)																					
3	DbTimeOut	DB タイムアウト (秒) <table border="1"> <thead> <tr> <th>api</th> <th>対応</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>/token</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>/api/logout</td> <td>×</td> <td></td> </tr> <tr> <td>/api/getdata</td> <td>△</td> <td>悲観ロックで DBS_STATUS 更新時は除く。</td> </tr> <tr> <td>/api/updatedata</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>/api/unlockdata</td> <td>△</td> <td>DBS_STATUS 更新時は除く。</td> </tr> <tr> <td>/api/getgroups</td> <td>×</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	api	対応	備考	/token	×		/api/logout	×		/api/getdata	△	悲観ロックで DBS_STATUS 更新時は除く。	/api/updatedata	○		/api/unlockdata	△	DBS_STATUS 更新時は除く。	/api/getgroups	×	
api	対応	備考																					
/token	×																						
/api/logout	×																						
/api/getdata	△	悲観ロックで DBS_STATUS 更新時は除く。																					
/api/updatedata	○																						
/api/unlockdata	△	DBS_STATUS 更新時は除く。																					
/api/getgroups	×																						
4	EnableCORS	CORS(Cross Origin Resource Sharing) を有効にします。*4 True: 生成元が異なる場合、ページの生成元が AllowedOrigins の中にあれば動作します。ページの生成元が AllowedOrigins の中になければエラーになります。*3 False: 生成元が異なる場合にエラーになります。*3																					
5	AllowedOrigins	EnableCORS が True の場合に許可する生成元を指定します。*3 ページの生成元に関わらず許可する場合は * を指定します。 2 つ以上ある場合、カンマで区切ります。 空文字列の場合、エラーになります。																					
6	dbSServer	dbsc サーバーの web サービスのエンドポイント 例) http://localhost/dbServer/Exuser/WsCom.asmx																					

## 13. ログ出力

- ログは log4net を使用して出力しています。
- 設定は web.config ファイルの中で行っています。以下はデフォルトの設定です。デフォルトの出力先ファイルは D:\dbScient\log\%dbsApi.log です。設定は環境、または、好みで変更できます。

```
<log4net>
  <appender name="RollingFile" type="log4net.Appender.RollingFileAppender">
    <file value="D:\dbScient\log\%dbsApi.log" />
    <appendToFile value="true" />
    <rollingStyle value="Size" />
    <maximumFileSize value="10MB" />
    <maxSizeRollBackups value="3" />
    <staticLogFileName value="true" />
    <layout type="log4net.Layout.PatternLayout">
      <conversionPattern value="%date %-5level %logger - %message%newline" />
    </layout>
  </appender>
  <root>
    <level value="Info" />
    <appender-ref ref="RollingFile" />
  </root>
</log4net>
```

- ログイン、ログアウト成功時に Info レベルのログが出力されます。
- エラー発生時には Error レベルのログが出力されます。但し、共通エラーの場合はログに出力されません。

## 14. 脚注

\*1.メッセージの言語は Accept-Language ヘッダによって決まります。

Accept-Language ヘッダに” en”（英語）と” ja”（日本語）があれば、Q 値が大きい方の言語が選択されます。Q 値が省略された場合 1 を意味します。” en”（英語）と” ja”（日本語）のどちらか一方だけあれば、その言語が選択されます。どちらもなければ、” en”（英語）が選択されます。

\*2.共通エラー

No	ボディ	HTTP ステータス	説明
1	{“Message”: “要求されたリソースは、http メソッド 'GET' をサポートしていません。”}*1	405 Method Not Allowed	HTTP メソッドが間違っています。
2	{“Message”: “要求されたリソースは、http メソッド 'POST' をサポートしていません。”}*1	405 Method Not Allowed	HTTP メソッドが間違っています。
3	{“Message”: “この要求に対して承認が拒否されました。”}*1	401 Unauthorized	Authorization ヘッダがありません。または、不正です。または、トークンの有効期間が過ぎました。
4	{“Message”: “要求 URI 'http://somedomain/api/xxx' に一致する HTTP リソースが見つかりませんでした。”, “MessageDetail”: “xxx’ という名前のコントローラーに一致する型が見つかりませんでした。”}*1	404 Not Found	URI 'http://somedomain/api/xxx' にアクセスしようとしたが、そのような URI は存在しません。

\*3.生成元、生成元が異なる

生成元とは uri の最初からホスト（ポート番号があればポート番号）までを言います。例えば、uri が <http://somedomain.co.jp/dbsapi> の場合、<http://somedomain.co.jp> になります。

生成元が異なるとは、自身が表示されている生成元が webapi の生成元と異なることを言います。この場合、セキュリティのリスクがあります。

\*4.CORS(Cross Origin Resource Sharing)

生成元が異なる webapi にアクセスする場合、自身のページの生成元を Origin というヘッダで送ります。

サーバーでその生成元にアクセスを許可する場合、Access-Control-Allow-Origin ヘッダにその生成元を返します。サーバーで任意の生成元にアクセスを許可する場合、\*を返します。

ブラウザは同一生成元の場合でも Origin ヘッダを添付することがあるため、デフォルトで web.config の EnableCORS は True、AllowedOrigins は\*に設定しています。

### \*5.プリフライトリクエスト

CORS で定義された特別なサーバーへの問い合わせで、リクエストの前にそのリクエストが許可されているかをサーバーに問い合わせます。OPTION メソッドで送信されます。

プリフライトリクエストが送信されるのは以下の条件が少なくとも 1 つ当てはまる場合です。

- 利用する HTTP メソッドが HEAD、GET、POST 以外です。
- 以下のヘッダ以外を送信しようとしています。
  - Accept
  - Accept-Language
  - Content-Language
  - Content-Type
- 以下のメディアタイプ以外を Content-Type に指定しています。
  - application/x-www-form-urlencoded
  - multipart/form-data
  - text/plain

## A. 改版履歴

版数	改版年月	項番	変更内容
第1版	2021年5月		初版
第2版	2024年12月		改訂版 /api/uploadfile ファイルのアップロード の追加。
			3./api/getdata~6.unlockdata のエラーCodeに5014を追加。
		1	表紙、本体の名称変更（dbSheetEX11）に追従。
第3版	2025年5月		改訂版 /SSO 機能をポータルリンク機能に名称変更。



株式会社ニューコム